



平成19年9月26日

六級航海専修課程第2期生の乗船実習開始

航海訓練所は、海技大学校と連携して、内航若年船員の確保・育成に向けた取り組みを行っています。

航海訓練所は、六級航海専修課程の第2期生20名を受け入れ、当所練習船「大成丸」で2ヶ月間（10月、11月）の乗船実習を実施します。第2期生は、10月1日に「大成丸」に乗船し、乗船式に臨んだ後、10月4日に横浜港を出港します。（乗船式：10月1日午後1時から横浜港新港埠頭5号岸壁着岸中の大成丸船上にて実施）

六級航海専修課程は、国土交通省に設置された「船員教育のあり方に関する検討会」の報告のうち、「内航業界における船員不足、とりわけ、航海当直基準の適格者の不足への対応として、一般高等学校等の卒業生を対象とする六級海技士（航海）資格を取得するための新たな養成課程を創設する必要がある」との報告を受け、海技大学校と当所の連携により今年度新たに創設されたものです。この課程は、海運事業者に雇用されているか内定している者を対象としており、海技大学校での1.5ヶ月間の座学及び免許講習、当所における2ヶ月間の乗船実習並びに各海運事業者の船舶における6ヶ月間の乗船により、六級海技士（航海）の受験資格を得ることができます。

今年度は既に、第1期生が当所練習船「青雲丸」において5月1日から6月30日までの2ヶ月間の乗船実習を終え、現在各海運事業者の船舶に乗船しています。

なお、大成丸においてはこの時期、大学2、3年生及び海技大学校2年生の実習も合わせて行っています。

【配布先】国土交通省交通運輸記者会



船名	大成丸
	(たいせいまる)
船長	竹本 孝弘
	(たけもと たかひろ)
進水日	S55.10.3
総トン数	5,886.73トン
全長	124.84m

問い合わせ先
この広報に関して

独立行政法人 航海訓練所事務局総務課
担当：小澤、岡田 電話：045-211-7303